

2022年  
国際仲裁ADR  
ワークショップ  
プログラム

日程：2022年3月11日（金）～3月13日（日）

場所：上智大学法科大学院

主催：上智大学法科大学院

協力：長島・大野・常松法律事務所

後援：一般社団法人 日本商事仲裁協会

## プログラム

○3月11日

集合場所：6-302教室（四谷キャンパス6号館3階）

9：00 開会式

1. 御挨拶
2. 御講演「予防法務の実務」  
対木 和夫 先生（上智大学教授、長島・大野・常松法律事務所弁護士）
3. 御協力頂く先生方の紹介
4. 事務連絡

10：00 調停準備

10：30 調停（～16：45まで）

各対戦室

17：00 振り返りと講評（各対戦室）

- ・各グループにおいて、調停人役、依頼人役の先生方より講評を頂き、調停を振り返ってください。

17：30 全体集会（6-302）

- ・各グループからの調停結果の発表と講評：各学生調停人が各3分程度で発表の後、講評等を行います。

18：00 終了

夜間課題

調停についての自己分析シートの作成

○3月12日

集合場所：6-302教室

9：00 調停自己分析

- ・自己分析シートの写しを配布したうえで、グループごとに自分達のパフォーマンス

スを振り返ります。

- ・ 3月13日のセッションで、グループ毎に自己分析の結果について発表していただきますので、全体で共有すべき点をメモしておいてください。

9 : 4 5 仲裁準備

10 : 15 仲裁（～15 : 00まで）

15 : 15 振り返りと講評（各対戦室）

- ・ 各グループにおいて、調停人役、依頼人役の先生方より講評を頂き、調停を振り返ってください。

15 : 50 全体集会（6-302）

- ・ 各グループの講評を踏まえ、仲裁人役の先生方より公表を頂きます。

16 : 30 仲裁についての自己分析シートの作成

#### 夜間課題

##### <代理人>

顧客宛メモの作成（グループで各1通）

～別途配布される依頼書に基づき、顧客に対する仲裁に関する報告書及び予防的視点に関する報告書をグループで各1通作成し提出してください。報告書は、以下の事項を記載してください。各報告書ともA4版で2～3枚です。

##### <仲裁に関する報告書>

- ①本日の審理の状況
- ②仲裁判断の見込み

##### <予防法務的視点に関する報告書>

仲裁審理の結果も踏まえつつ、今後に向けた予防法務的視点からのアドバイス（今後、同種のトラブルを避けるために顧客がとるべき具体的施策（契約等の書類に関するもの、顧客企業のガバナンスや事務体制に関するものを含む）。提出された報告書は3月13日のセッションで参加者に配布され、講評の対象となります。

##### <仲裁人>

仲裁判断の作成（各対戦ごとに1通）

○3月13日

**集合場所：6-302教室**

9：00 仲裁自己分析

- ・自己分析シートの写しを配布したうえで、グループごとに自分達のパフォーマンスを振り返ります。

9：45 仲裁自己分析結果の発表（6-302）

- ・各グループから、5分程度で自己分析結果の発表を行って頂きます。その際、
  1. 自分自身の評価と他者による評価の異同
  2. 何がうまくできて、何がうまくできなかったか
  3. 弁護士の先生や教員に質問したい点等に触れてください。

11：00 準備書面の講評（6-302）

- ・弁護士の先生方から準備書面について御講評を頂きます。

12：15 昼休み

13：00 予防法務の視点（6-302）

- ・グループ毎に、前日に提出した予防法務に関する報告書に基づき、レッド社又はブルー社の役員会において予防法務の観点からの留意点について説明するという設定のもと、5分程度で報告をして頂き、役員（弁護士の先生方）からの質問に対応します。
- ・弁護士の先生方から予防法務の視点から御講評を頂きます。

15：15 仲裁判断の発表と講評（6-302）

16：15 閉会式（6-302）

1. 弁護士の先生方からの総評
2. 教員からの総評
3. 最優秀代理人チーム、最優秀調停人・仲裁人の発表
4. 閉会の辞